

令和 7 年度 第 1 回 常議員会別添資料

日時 令和 7 年 4 月 8 日(火) 午後 1 時 30 分

場所 黒石商工会議所 会頭室

黒石商工会議所

報告事項① 小規模企業振興委員委嘱について

小規模企業振興委員 名簿 (令和7年4月1日現在)

氏名	事業所名	郵便番号	住所
村元 慎治	(有)ムラモト自動車工業	036-0323	黒石市上十川大野一番 25-3
長内 康之	行政書士おさない よろず法務事務所	036-0306	黒石市内町 31
福士 裕康	BookShop かえで	036-0362	黒石市京町 33-2
高橋 経子	わんどの Web	036-0314	黒石市道北町 73

担当副会頭

宇野 純子	株とがわ建設	036-0537	黒石市赤坂野崎 84-4
-------	--------	----------	--------------

報告事項② 交通量調査結果について

令和6年度市内交通量調査の結果

※昨年度と比較して特に増減があった箇所を取り上げている。

【平日の車両交通量】

◆増加

- ④上町(株山与呉服店前)：788台→1,074台 (286台(36.3%増))
⑥横町(クラフトしみず前)：626台→730台 (104台(16.6%増))

◆減少

- ⑦浜町(黒石貨物自動車株前)：2,784台→2,482台 (302台(10.8%減))
⑮相野(JA津軽みらいセルフくりいし前)：8,704台→7,952台 (202台(2.6%減))

【日曜日の車両交通量】

◆増加

- ④上町(株山与呉服店前)：462台→558台 (96台(20.8%増))
⑯浜町(黒石貨物自動車株前)：1,742台→2,022台 (280台(16.1%増))

◆減少

- ③元町(田澤宅前)：1,442台→1,266台 (176台(12.2%減))
⑯浅瀬石(福音の星前)：7,568台→5,926台 (1,642台(21.7%減))

【平日の歩行者量】

◆増加

- ④寺小路(池田不動産駐車場)：170人→226人 (56人(32.9%増))
⑥横町(クラフトしみず前)：112人→218人 (106人(94.6%増))

◆減少

該当なし

【日曜日の歩行者量】

◆増加

- ①一番町(ワンダープリント隣地前)：244人→250人 (6人(2.5%増))
⑥横町(クラフトしみず前)：136人→182人 (46人(33.8%増))

◆減少

- ⑤一番町通り(青い森信用金庫黒石支店前)：222人→84人 (138人(62.2%減))
⑧市ノ町(ジャストサービス前)：164人→61人 (103台(39.0%減))

報告事項③ 令和6年度補助・委託事業実施内容について

事業環境変化対応型支援事業報告書

相談会名	専門家による個別相談窓口		
コンサルタント名 (団体名)	①三上一税理士事務所 代表 三上 一 氏 ※午前の部（半日のみ） ②株式会社マネジメントパートナー・アオモリ 代表取締役 千葉 裕仁 氏 ③行政書士おさないよろづ法務事務所 代表 長内 康之 氏 ④パソコンITシステム 代表 長谷川 直宏 氏 ⑤鈴木社会保険労務士・行政書士事務所 代表 鈴木 清公 氏		
開催年月日	令和6年 7月 2日～令和6年11月26日 ①三上 一 氏 10日間（午前のみ） ②千葉 裕仁 氏 12日間 ③長内 康之 氏 10日間 ④長谷川 直宏 氏 10日間 ⑤鈴木 清公 氏 10日間 【合計52日間】 相談時間：午前9時30分～午後 4時30分（昼休憩1時間） ※午前のみは相談時間：午前9時30分～午後12時30分（昼休憩なし）		
開催場所	黒石商工会議所 相談室		
受講料	無料		
相談者数	延べ 80名 (相談数)		
制度内容	1	【インボイス制度】 (6名)	
	2	【物価高騰（エネルギーコスト増）】 (1名)	
	3	【賃上げ・最低賃金値上げ】 (6名)	
	4	【デジタル化】 (22名)	
	5	【事業承継・事業引継ぎ】 (8名)	
	6	【各種補助金制度・支援策】 (37名)	
効 果	昨年に引き続き「専門家による個別相談窓口」を令和6年7月から令和6年11月までの期間（曜日別に5名の専門家が対応）合計52日間、個別相談窓口を開設した。 新型コロナウイルス感染症等の影響や最低賃金引上げ、デジタル化、インボイス制度導入、エネルギーその他物価高騰等の対応といった事業環境変化による影響を受ける中小・小規模事業者からの経営相談や各種申請サポート等について、専門家が個別に対応した。 近隣市町村の事業者も含め事業者の相談に対して、的確に個別対応をしていただく事により事業継続を支援した。		

令和6年度 中小企業者等L Pガス・特別高压電気価格高騰対策支援金（追加実施分）給付業務報告書

1. 事業目的等

青森県がエネルギー価格の高騰による厳しい経営環境が続いている事業者の負担軽減を目的として「L Pガス」や「特別高压電気」を使用する県内中小企業等に対し、使用量に応じた支援金の給付を実施。商工会議所等が申請窓口になり事業の周知、審査、支援金振込を行った。

2. 納付対象

令和6年5月1日時点で県内に事業所を有する中小企業者等（会社及び個人事業主）

3. 納付額

L P ガ ス:令和5年10月～令和6年4月分

1立方メートル当たり 31円 ※給付金額に上限なし

特別高压電気: 令和5年10月～令和6年4月分

1キロワットアワー当たり 1.25円 ※上限額25万円/月

4. 申請受付期間

令和6年5月7日（火）～6月28日（金）

5. 納付件数及び納付額

L Pガス支援金 87件 1,616,044円 ※特別高压電気支援金の給付は0件

6. 主な給付業種と給付額割合

飲食店 56.0% 食品製造業 14.5% 宿泊業 6.4% 食料品小売業 4.6%他

制度改正等の課題解決環境整備事業報告書

講習会名	小規模事業者持続化補助金対応 経営計画作成支援セミナー&個別相談会
講師名 (団体名)	コンサルティング・シスト 代表 中小企業診断士 伊藤 慎悟 氏
開催年月日	<p>【セミナー】 令和6年6月20日（木） 13：30～15：00</p> <p>【個別相談会】 令和6年6月20日（木） 10：00～11：30 15：15～16：45 令和6年6月21日（金） 9：30～16：30</p>
開催場所	【セミナー】 : 黒石商工会議所「会頭室」 【個別相談会】 : 黒石商工会議所「会頭室」
受講料	無料
受講者数	【セミナー】 11名 【個別相談会】 6名
講習内容	<p>「小規模事業者持続化補助金」</p> <p>1. 申請書の書き方とポイント</p> <p>2. 申請書の下書き作成</p> <p>3. 個別相談</p>
効 果	<p>セミナーでは、補助金とはどういうものなのかという基本的な説明から始まり、続いて小規模事業者持続化補助金の内容について説明した。申請書の作成にあたり、書類だけで事業を明確に魅力的に伝える書き方について説明した。また、申請書類の核となる経営計画書と補助事業計画書の作成については、自社の強みと市場の特性を把握することが重要であり、補助事業計画が経営計画の今後の方針・目標を達成するために必要かつ有効なものであるべきだと説明した。</p> <p>経営計画書は小規模事業者持続化補助金だけでなく、その他の補助金申請においても必要となるが、そもそも補助金申請の有無にかかわらず、自社の経営において大変有効であることを参加者に認識していただいた。小規模事業者持続化補助金の申請に向けて早い段階から申請の流れをイメージし、必要書類の作成準備を行うことが可能となった。</p> <p>個別相談会には6名が参加した。個別相談会は早期に予約でいっぱいになってしまったため、講師のご厚意で急遽セミナー前に1枠追加することとなった。セミナーで学んだ、顧客ニーズや市場の動向、自社の強み、経営方針、目標と今後のプランなどを付箋紙に書き出す方法を活用し、それを文章化したものについて講師からアドバイスをいただいた。</p> <p>講師のアドバイスにより、ある参加者は、文章に整理しきれていた経営計画がより鮮明になり、目標達成のために何をすべきかを見いだすことができた。また、経営計画をある程度文章化できていた参加者は、審査項目となっている事項の追記など審査に対するアドバイスをいただいた。</p>

講習会名	小規模企業のデジタル化・DXセミナー
講師名 (団体名)	アップコンパス合同会社 IT経営マガジン「COMPASS」編集長 石原 由美子 氏
開催年月日	令和6年8月28日(水) 14:00~16:00
開催場所	黒石市産業会館「4階大会議室」
受講料	無料
受講者数	12名
講習内容	<p>(1)なぜ、経営に「デジタル化」なのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営環境の変化 ・DXって何? <p>(2)経営に役立つIT まず、ここを押さえる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「クラウド」が業務用ITツールを身近にした ・進化した業務用ITツールを活かす 3つの観点 ・実は大事!業務の点検と課題の書きだし <p>(3)様々な地域・産業の事例から学ぶ</p> <p>(4)上手に進めるためのポイント</p>
効 果	本セミナーでは、自身のスキルアップやIT・DXに関する知識を深めたいという目的を持った市内の小売業・サービス業の方が主に参加した。セミナーを受講し「DX本来の意味を理解できた」・「IT技術の導入により業務改善した異なる業種の事例が参考になった」等の感想をいただいた。このことから「これをやろう」と一步踏み出すことがなによりも大切であり、全部を真似するのではなく参考ポイントや基本知識を押さえ、自社に照らし合わせて考えるのがコツだということを学んだ。

令和6年度 伴走型小規模事業者支援推進事業報告書

1. 事業の背景

当事業は日本商工会議所の伴走型小規模事業者支援推進事業費補助金を活用し、経営発達支援事業※の一部を実施するもの。

※経営発達支援事業

小規模事業者の持続的発展を支援するため商工会議所等が支援計画を策定し経済産業大臣が認定する仕組み。小規模事業者の経営分析、事業計画作成・実行支援、販路開拓につながる展示会や商談会の参加や取り組みなどを総合的に支援する事業。

2. 事業内容

(1) 支援システムの導入：令和6年7月～令和7年2月

支援システム「BIZミル」のローカルベンチマーク分析機能を活用し、小規模事業者の財務分析・非財務分析を行った後、課題抽出や事業計画の策定支援を行った。

また、同システムにて巡回・窓口支援の履歴の入力・閲覧を行い、経営指導員間で支援ノウハウの共有を図った。

(2) おみせ相談所の実施：令和6年11月～令和7年2月

黒石市内の事業者の商品・サービスの開発やリニューアル、広報などのお悩みについてアドバイスする「おみせ相談所2024」を実施。物価高騰により粗利益率が減少している事業者の収益力強化、商圏拡大・新規顧客獲得を目的に支援した。

グラフィックデザイナーの木村正幸氏を相談員にむかえ、延べ10回に渡り個別相談会を実施し、下記の小規模事業者の商品パッケージ等の試作品を開発した。今後も商品パッケージ等の実用化に向けて継続してフォローアップを行う。

■参加した小規模事業者の業種、試作した商品アイテム

①小売業（洋菓子製造卸小売業）：商品パッケージのリニューアル

②製造業（清酒製造卸小売業）：商談会出店時のオリジナル販促グッズの開発

3. 補助金額

819,200円

経営・技術強化支援事業（旧エキスパートバンク事業）事業報告書

1. 事業目的

専門的知識を有する者を事業所に派遣して経営課題に対する具体的・実践的指導を行うことにより、経営・技術力を強化することを目的とする。当事業は経営コンサルタントの少ない地域の事業者にとって、個別に専門家の助言・ヒントを得る契機ともなり、経営改善や経営計画の策定といった支援につなげる。

長期化する物価高騰や制度改正等への対応で、厳しい経営環境に置かれている小規模事業者も多いことから一層の支援に努める。

経営・技術強化支援事業（旧エキスパートバンク）	
【指導条件】	エキスパートを年1回まで無料で派遣（1回3時間） ※経費の一部をご負担いただくことで指導を継続することが可能
【対象】	県内商工会議所地域の小規模事業者（常時使用する従業員が、製造業その他は20人以下、商業・サービス業は5人以下）

2. 成果指標

指標名	目標値	最終実績	特記事項
利用数	4件	5件	R6.4.15 実施（支援内容：HACCP） R6.5.21 実施（支援内容：HACCP） R6.6.10 実施（支援内容：事業再構築補助金） R6.6.18 実施（支援内容：HACCP） R7.3.17 実施（支援内容：経営事項審査）

3. 収支決算

(1) 収入

科目	摘要	金額（円）	算定基礎
県小規模補助金	経営・技術強化支援事業	130,000	
利用者自己負担	2回目以降の利用により1/3自己負担	21,268	31,900円×1/3=10,634円※2回分
自己負担	黒石商工会議所	8,232	
	合計	159,500	

(2) 支出

科目	摘要	金額（円）	算定基礎
謝金・旅費	専門家謝金	137,500	27,500円×1人×5回
	専門家旅費	22,000	4,400円×1人×5回
	合計	159,500	

黒石市創業相談ルーム管理運営事業報告書

1 インキュベーション・マネジャーによる相談対応状況

(1) 定期相談及び随時相談対応状況

構想企画段階	内訳（未創業）				内訳（創業後）					合計
	事業計画等	開業手続き	その他	資金調達	商品開発	法人化等	販路開拓	知財	その他	
黒石ルーム利用	15	13	7	0	4	1	1	0	0	10 51

(2) 市町村別

市町村名	人数
黒石市	25
平川市	2
弘前市	4
青森市	1
田舎館村	1
合計	33

小規模事業者持続化補助金・ものづくり補助金・事業再構築補助金 事業報告書

1. 小規模事業者持続化補助金

小規模事業者が、商工会議所・商工会の助言を受けて経営計画を作成し、その計画に沿って取り組む「販路開拓」に対し費用の一部を補助するもの。

補助金額：<通常枠> 50万円

補 助 率：<通常枠> 3分の2

(1) 令和6年度中の申請数と採択数について

<通常枠>

申請数：2件 採択数：2件

<創業枠>

申請数：0件 採択数：0件

<賃上げ枠>

申請数：0件 採択数：0件

<インボイス枠>

申請数：0件 採択数：0件

【申請数合計2件 採択数合計2件】

採択金額：100万円

(2) 採択事業所の取り組み事例

店舗改装

(3) 令和7年度以降の公募スケジュールについて

第17回は5月上旬公募予定

2. ものづくり補助金（ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金）

中小企業等が新たに設備投資を行い、当該設備を活用し自社や地域にない新たなサービス（革新的サービス）の開発や生産プロセス等の省力化を行い、生産性を向上させる事業に対し費用の一部を補助するもの。

補助金額：<通常類型> 100万円～1,250万円 ※従業員規模や賃上額による

補 助 率：<通常類型> 2分の1 ※小規模事業者は3分の2

※省力化（オーダーメイド）枠、グローバル枠等あり

(1) 令和6年度中の申請数と採択数について

申請数合計：0件 採択数合計：0件

採択金額：0円

(2) 令和7年度以降の公募スケジュールについて

19次：令和7年4月11日公募受付開始・令和7年4月25日締切
電子申請のみ（GビズIDプライムアカウント使用）

3. 事業再構築補助金

物価高騰、ポストコロナ時代の経済変化に対応するため新市場進出（新分野展開、業態転換）、事業・業種転換、事業再編など思い切った事業再構築を補助するもの。

（建物費、機械装置・システム構築費等）

補助金額：〈成長枠〉100万円～7,000万円 ※事業類型、従業員規模による

補 助 率：〈成長枠〉2分の1 ※中小企業者等

（1）令和6年度中の申請数と採択数について

申請数合計：1件 採択数合計：0件

採択金額：0万円

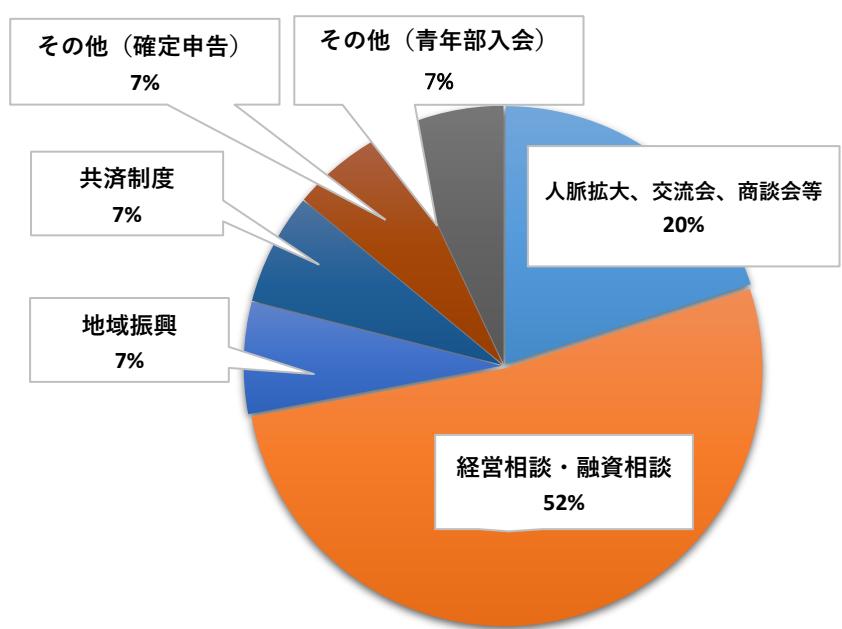
（2）令和7年度以降の公募スケジュールについて

第13回を最後に当補助金の公募は終了

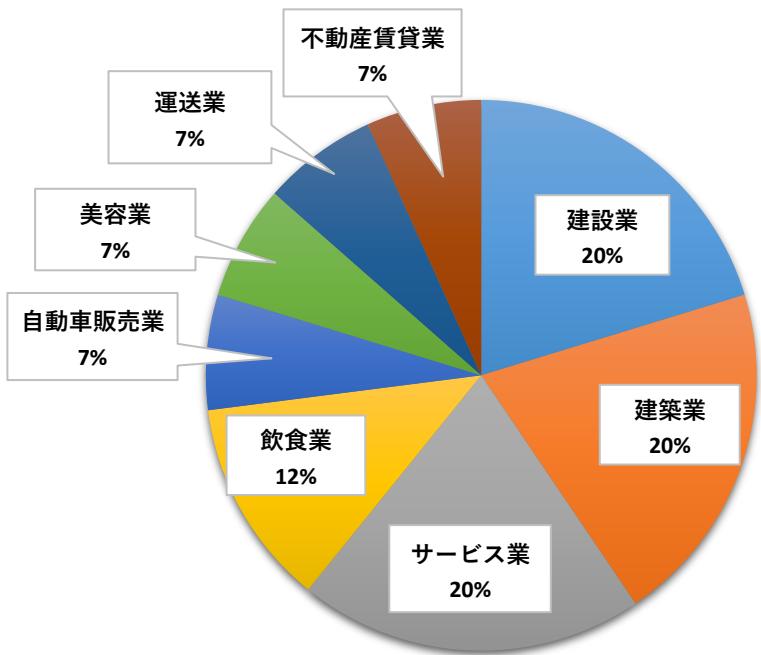
報告事項④会員入会・退会状況について

令和6年度黒石商工会議所入会状況

入会理由	事業所数
人脈拡大、交流会、商談会等	3
経営相談・融資相談	8
情報収集	0
広報、P R 支援	0
地域振興	1
地域社会貢献	0
共済制度	1
その他（確定申告）	1
その他（青年部入会）	1
合計	15

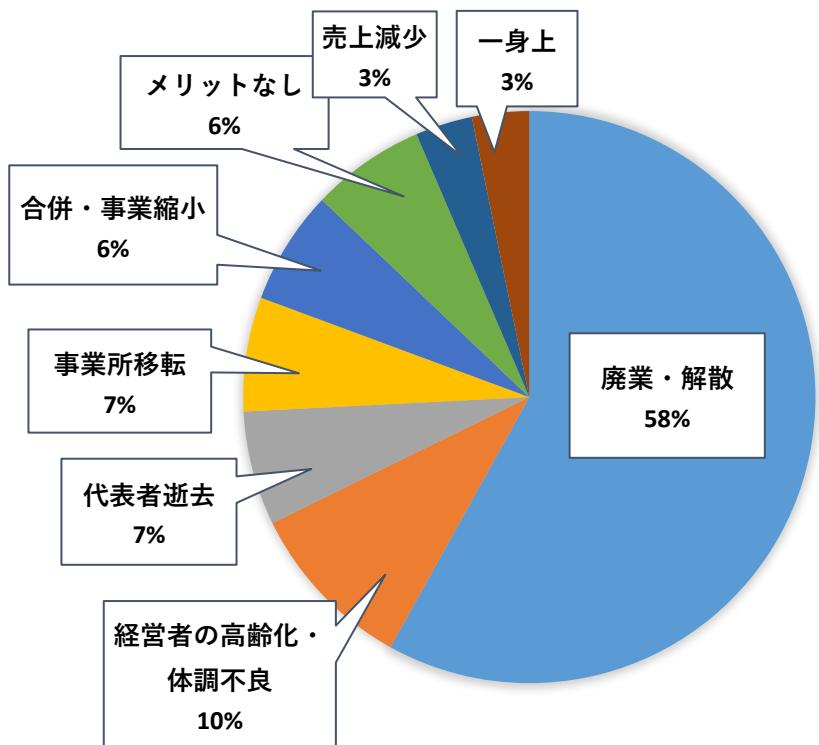


業種別	事業所数
建設業	3
建築業	3
サービス業	3
飲食業	2
自動車販売業	1
理容業	1
運送業	1
不動産賃貸業	1
合計	15

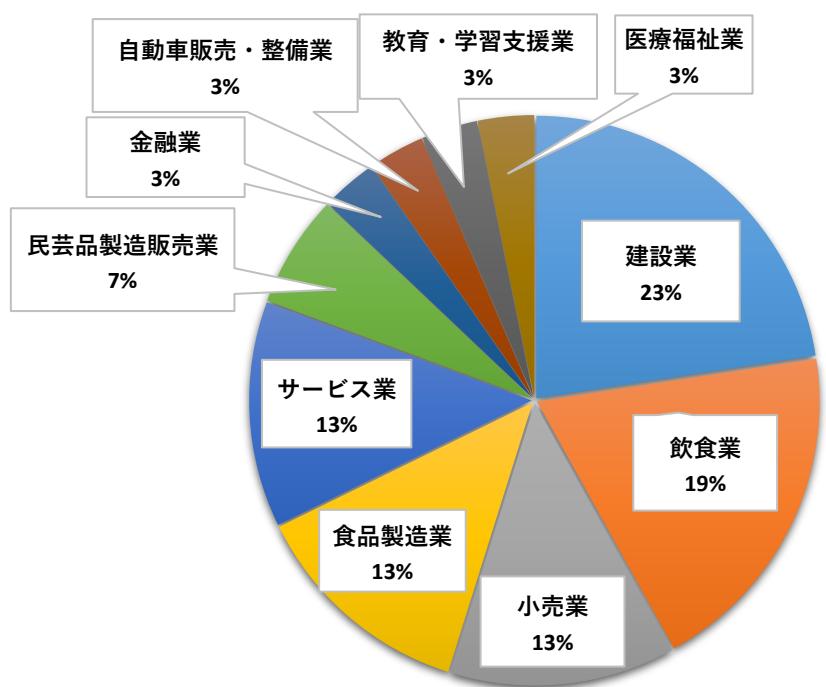


令和6年度黒石商工会議所退会状況

退会理由	事業所数
廃業・解散	18
経営者の高齢化・体調不良	3
代表者逝去	2
事業所移転	2
合併・事業縮小	2
メリットなし	2
売上減少	1
一身上	1
合計	31



業種別	事業所数
建設業	7
飲食業	6
小売業	4
食品製造業	4
サービス業	4
民芸品製造販売業	2
金融業	1
自動車販売・整備業	1
教育・学習支援業	1
医療福祉業	1
合計	31



報告事項⑤ 令和 7 年度正職員採用について

■ 正職員

笹森 綾乃

生年月日：平成 15 年 2 月 27 日

現 住 所：黒石市末広

採 用 日：令和 7 年 4 月 1 日

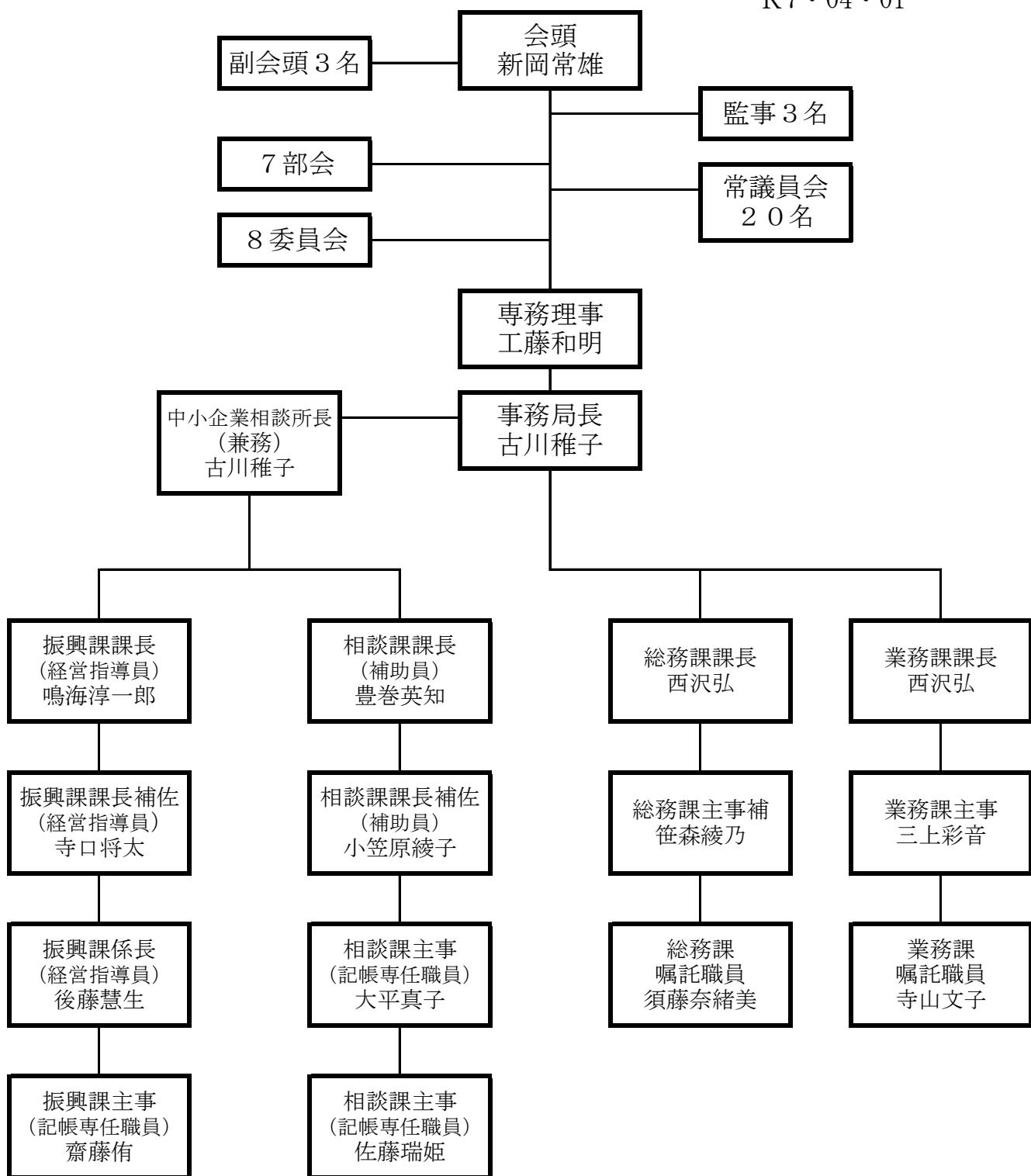
最終学歴：弘前学院大学 文学部 日本語・日本文学科

所 属：総務課

報告事項⑥ 事務局組織・業務分担一覧について

黒石商工会議所組織図

R 7・04・01



嘱託職員 2名

臨時職員 0名

令和7年度「総務課及び業務課」主たる業務の分担表

令和7年4月2日 更新

番号	業務内容	主担者	副担者	副担者	備考
1	業務全般の統括	古川 稚子			
2	儀礼、交際、涉外関連	古川 稚子			
3	役員、議員の選任	古川 稚子			
4	定款その他諸規程	西沢 弘	古川 稚子		
5	収支予算、決算	古川 稚子			
6	人事及び給与に関する事項	古川 稚子			
7	公印管理	西沢 弘	工藤 和明		
8	財産の管理運営に関する事項	西沢 弘			
9	現金、預金及び有価証券出納管理	西沢 弘			
10	証明、鑑定、紹介、斡旋に関する事項	西沢 弘			
11	大規模小売店舗立地法に関する事項	古川 稚子			
12	情報の管理	豊巻 英知			
13	議員総会、常議員会関連	西沢 弘	笹森 綾乃		
14	会計関連(一般、収益事業、特定退職金、議員選挙等)	西沢 弘	三上 彩音	笹森 綾乃	
15	事業報告関連	西沢 弘			
16	会員管理	西沢 弘	三上 彩音		
17	県連・商工調査事業関連	三上 彩音			
18	商工会議所ビジネス総合保険制度関連	三上 彩音			
19	物品の調達及び保管	西沢 弘	笹森 綾乃		
20	特定商工業者関連	西沢 弘	笹森 綾乃		
21	集団扱自動車保険制度	三上 彩音			
22	会員拡大推進委員長	三上 彩音			
23	広報の発行	三上 彩音	寺口 将太		
24	商工会議所共済制度(生命共済、特定退職金共済等)	三上 彩音	西沢 弘		
25	商工会議所コンプライアンス責任者	西沢 弘			
26	個人情報保護管理者	豊巻 英知			
27	個人情報取扱責任者	西沢 弘	鳴海 淳一郎		
28	特定個人情報事務取扱者	笹森 綾乃 寺山 文子 三上 彩音 佐藤 瑞姫			
29	社会保険、労働保険関連	西沢 弘	寺山 文子		
30	青森県火災共済関連	三上 彩音	寺山 文子		
31	サーバーの管理	西沢 弘	豊巻 英知		
32	ホームページ作成・更新関係	三上 彩音	後藤 慧生		
33	原産地証明関連	寺口 将太	佐藤 瑞姫		サイナー 寺口、佐藤
34	文書收受・発送、整理保管	笹森 綾乃	須藤奈緒美	西沢 弘	
35	簿記検定	三上 彩音	西沢 弘		
36	珠算検定	齋藤 侑	笹森 綾乃		
37	日商ネット試験	三上 彩音	笹森 綾乃		
38	容器包装リサイクル関係	須藤 奈緒美	寺山 文子		
39	こみせまつり実行委員会事務局	西沢 弘	総務課・業務課		
40	くろもの事業	鳴海 淳一郎			
41	どこでも物産展事業	寺口 将太			
42	所内デジタル化、DX推進	西沢 弘	小笠原 綾子	後藤 慧生	三上 彩音

令和7年度中小企業相談所業務一覧

令和7年4月1日

番号	項目	主 担	副 担	摘 要1	摘 要2
1	補助金申請・実績報告関係	鳴海 淳一郎	寺口 将太		
2	経営発達支援計画事業(おみせ相談所事業)	鳴海 淳一郎	寺口 将太	全職員	
3	事業継続力強化支援計画事業	鳴海 淳一郎	後藤 慧生	全職員	
4	小規模事業者持続化補助金等の補助金周知、支援者の統括	寺口 将太	相談所全員		
5	創業支援	豊巻 英知	相談課		
6	事業承継支援	豊巻 英知	相談課	振興課	
7	講習会開催費関係、情報化推進事業	大平 真子	豊巻 英知	相談課	
8	日商 事業環境変化対応型支援事業	鳴海 淳一郎	相談所全員		
9	日商 制度改正等の課題解決環境整備事業	豊巻 英知	相談所全員	相談課	
10	政府系・県保証融資・市融資制度関係	豊巻 英知	相談課		
11	マル経資金審査会(司会)、一日公庫	豊巻 英知	小笠原 綾子	補助員	
12	金融懇談会	小笠原 綾子	経営指導員	経費:一般会計	
13	施策普及費関係	斎藤 侑	振興課		
14	小規模企業振興委員連絡会議関係	後藤 慧生	相談課		
15	むらおこし事業等地域活性化事業	鳴海 淳一郎	全職員		
16	専門家派遣事業、よろず支援拠点相談会サポート	斎藤 侑	寺口 将太		
17	税務支援・税理士会関係	大平 真子			
18	相談所会計	佐藤 瑞姫	斎藤 侑		
19	倒産防止共済制度	佐藤 瑞姫	相談課		
20	小規模企業共済制度	佐藤 瑞姫	相談課		
21	商工会議所青年部・シニアクラブ	後藤 慧生	斎藤 侑		
22	商工会議所女性会	大平 真子	相談課		
23	日本商工会議所報告・アンケート関係	小笠原 綾子	相談所全員		
24	黒石地区税務関係団体協議会	寺口 将太		受託事務	
25	黒石青色申告会・連合会	小笠原 綾子	後藤 慧生	受託事務	
26	輝く黒石りんご市の会	斎藤 侑	後藤 慧生	受託事務	
27	カルテの整理・管理	補助員			
28	所内デジタル化、DX推進	西沢 弘	小笠原 綾子	後藤 慧生	三上 彩音

令和7年度 部会・委員会・受託団体担当一覧表

令和7年4月1日

I. 部会業務担当一覧

番号	部会名	主担氏名	副担氏名	備考
1	食品商業	寺口 将太	三上 彩音	
2	生活文化商業	大平 真子	豊巻 英知	
3	工業	後藤 慧生	佐藤 瑞姫	
4	建設	鳴海 淳一郎	齋藤 侑	
5	観光・交通・サービス	三上 彩音	笹森 綾乃	
6	理財・情報産業	小笠原 綾子	後藤 慧生	
7	厚生・福祉	小笠原 綾子	齋藤 侑	

II. 委員会業務担当一覧

番号	委員会名	主担氏名	副担氏名	備考
1	総務	豊巻 英知	西沢 弘	
2	産経	寺口 将太	佐藤 瑞姫	
3	労働	西沢 弘	笹森 綾乃	
4	税務	大平 真子	齋藤 侑	
5	金融	後藤 慧生	小笠原 綾子	
6	観光	三上 彩音	笹森 綾乃	
7	広報特別	三上 彩音	寺口 将太	掲載記事各担当職員 へ依頼
8	中心市街地活性化特別委員会 黒石市中心市街地活性化協議会	鳴海 淳一郎	振興課	

III. 事務受託団体担当一覧

番号	事務受託団体名	主担氏名	副担氏名	備考
1	黒石ロータリークラブ	佐藤 瑞姫	笹森 綾乃	
2	黒石青色申告会・連合会	小笠原 綾子	後藤 慧生	
3	十日会	西沢 弘	笹森 綾乃	
4	黒石地区雇用対策協議会	寺山 文子		
5	黒石地区エネルギー問題懇談会	三上 彩音	西沢 弘	
6	黒石地酒をたしなむ会	須藤 奈緒美		
7	黒石物産協会	齋藤 侑	寺口 将太	
8	南黒燃焼器具整備協会	鳴海 淳一郎	須藤 奈緒美	
9	好日会(職員OB会)	豊巻 英知		
10	黒石市自衛隊協力会	須藤 奈緒美		
11	黒石地区税務関係団体協議会	寺口 将太		
12	(一社)全国労働保険事務組合連合会 青森支部黒石地区協議会	西沢 弘	寺山 文子	
13	黒石珠算連盟	齋藤 侑	笹森 綾乃	
14	商工会議所青年部・同シニア倶楽部	後藤 慧生	齋藤 侑	
15	商工会議所女性会	大平 真子	相談課	
16	黒石つゆやきそば伝紹会	豊巻 英知		
17	輝く黒石りんご市の会	齋藤 侑	後藤 慧生	
18	こみせ通り商店街振興組合	西沢 弘	総務課・業務課	
19	黒石小売酒販組合	鳴海 淳一郎	須藤 奈緒美	

報告事項⑦ 各部会・委員会、青年部・女性会活動報告について

(令和7年3月1日～令和7年3月31日)

部会名	開催日時	開催場所	出席者	開催内容
食品商業	開催なし			
生活文化商業	開催なし			
工業	開催なし			
建設	開催なし			
観光・交通・サービス	開催なし			
理財・情報産業	開催なし			
厚生・福祉	開催なし			

委員会名	開催日時	開催場所	出席者	開催内容
総務	開催なし			
産経	開催なし			
労働	開催なし			
税務	開催なし			
金融	開催なし			
観光	3月7日(金) 17:30	松の湯 交流館	受賞者等17名・事務局 <計19名>	【津軽くろいし みんなの雪だるま「写真で審査・私の雪だるまコンテスト2025」表彰式】 今年度の表彰式は受賞者等17名が参加し受賞式を行った。松の湯交流館には多くの市民が来場し、展示されている創意工夫を凝らした20点の作品を観覧していた。
広報特別	開催なし			

	開催日時	開催場所	出席者	開催内容
黒石商工会議所 青年部	2月26日(水) 18:00	レストラン 御幸	高橋晃司・村上慈人・渡辺 浩司・浅利有里・相馬大・ 加藤さおり・松村定世・長 内康之・棟方清崇・高橋 聰・齊藤工・村上照幸・山 谷晃・花田優・長井雄太・ 高橋宥稀乃・委任状行使 者14名・事務局 <計32名>	【令和6第2回臨時総会】 案件(1)令和7年度監事の選任につ いて 案件(2)令和7年度役員の承認につ いて ※すべて満場一致で可決 【2月定例会】 講師：八戸商工会議所青年部 政策提言委員会 委員長 岡本信也 氏 内容：「まちづくりのための政策 提言」 講師例会を実施した。八戸YEG が自 治体へ政策提言を実施した背景、 テーマを決め、勉強会、文書化、提 出までの流れや、そこにあった課題 などのエピソードを講演。講演終了 後、質疑応答が活発に行われた。実 施するにあたり、八戸とは都市規模 の違いや課題の内容も違うので黒石 市の課題を深く情報収集を行う必要 があると感じた。5月に政策提言につ いての事業を実施したい。

黒石商工会議所 青年部	3月4日(火) 19:00	会頭室	高橋晃司・村上慈人・浅利有里・渡辺浩司・相馬大・松村定世・長内康之・高橋聰・加藤さおり・棟方清崇・湯瀬高央・齊藤工・対馬孝男・長井雄太・山谷晃・事務局 <計16名>	【令和6年度第12回役員会】 案件(1)令和6年度第2回臨時総会 ・2月定例会について 案件(2)令和6年度3月定例会について 案件(3)令和7年度方針について 案件(4)令和7年度通常総会について ※すべて満場一致で可決
	3月8日(土) 13:00	むつグランド ホテル	高橋晃司・渡辺浩司・相馬大・村上照幸・対馬孝男 <計5名>	【青森県商工会議所青年部連合会 第5回役員会】 案件(1)第2回臨時総会審議案件について 案件(2)ゴルフ交流委員会事業報告について 案件(3)第4回役員会懇親会事業について 案件(4)次回の開催について ※すべて満場一致で可決
	3月26日(水) 18:30	白露	高橋晃司・渡辺浩司・相馬大・松村定世・長内康之・高橋聰・加藤さおり・棟方清崇・湯瀬高央・齊藤工・対馬孝男・北山義隆・瓜田健太郎・増川博基・高橋宥稀乃・江利山圭祐・事務局 <計17名>	【3月定例会】 内容：各委員会より1年間の事業報告。※各委員会×PPT10分 専務室・総務委員会・交流委員会・地域活性化委員会 各種事業活動に積極的に参加した優秀な委員会及び会員を表彰。※褒章規定に準ずる 所感：KUROISHI YEG AWARDSと題して、1年間のYEG活動においての事業報告とYEG活動に貢献した委員会並びに会員に対し表彰を実施。 各委員会の事業報告を通じ目的が達成できたと考察するが、次年度に向けた各事業を見直す部分がある。褒章部門に関しては、会員の意識高揚を図ることができたと考察する。全体的には、参加者が少ないとから参加率向上の創意工夫が必要ではあるが、明るく楽しく景気よく有意義な時間を共有できた。 最優秀委員会：交流委員会（さくらまつり事業、他YEG・インパルス交流事業他） 優秀委員会：専務室（黒石YEGはしご酒事業、3月定例会他） 最優秀会員：相馬大（相馬住設 代表） 優秀会員：加藤さおり（はなまる代表）

	開催日時	開催場所	出席者	開催内容
黒石商工会議所 女性会	3月11日(火) 19:00	会頭室	大溝千秋・李若冰・渋川 麗子・斎藤甲・野呂英 子・工藤由美子・岩崎聰 子・高木まり子・石黒き よの・井元タマエ・事務 局 〈計11名〉	<p>【令和6年度第9回役員会】</p> <p>案件(1)令和7年度事業計画(案)並びに収支予算書(案)の策定について</p> <p>※令和7年度事業計画(案)・収支予算書(案)を協議。</p> <p>案件(2)令和7年度監査会・役員会の開催について</p> <p>※監査会・役員会の日程を協議。</p> <p>案件(3)令和7年度通常総会の開催について</p> <p>※次回の役員会で検討。</p> <p>案件(4)会則の改定について</p> <p>※会則第6条を「副会長2名」から「副会長3名以内」に変更、また会則第8条に「会長の任期は最長2期4年までとする」を追加することを承認。</p> <p>案件(5)役員改選について</p> <p>※役員改選について協議。</p> <p>案件(6)その他について</p> <p>①令和7年度東北六県商工会議所 女性会連合会表彰について</p> <p>※特別功労者表彰として渋川理事を推薦することに決定。</p> <p>②会からのお礼について</p> <p>※対象の役員に対し、商品券を贈呈することに決定。</p>